

株式会社安川電機

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種：電気機器 ● 事業概要：ACサーボ・コントローラ事業、インバータ事業、ロボット事業、システムエンジニアリング事業（鉄鋼、社会システム、産電、環境・エネルギー） ● 事業規模： <ul style="list-style-type: none"> 連結売上高 4,746億円（2019年2月期） 連結従業員数 15,905名 <p style="text-align: right;">（2019年2月28日現在、臨時従業員含む）</p>
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>削減目標：検討中（現目標:2030年15%削減(2015年比)）</p> <p>削減取組：</p> <ol style="list-style-type: none"> ①太陽光発電設備の増設。 ②購入電力の再生可能エネルギー比率向上。 ③省3M(ムダ・ムラ・ムリ)活動および生産プロセス革新による生産性向上。 <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み></p> <p>削減目標：カテゴリ11（販売した製品の使用）で設定予定</p> <p>削減取組：環境貢献製品の売上比率増加</p>

株式会社安川電機

項目	内容									
3.基準年のGHGインベントリ	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準年未定のため、2018年のScope 1・2・3の排出量実績 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 7,073[tCO₂] (1.2%) 								
	<p>A pie chart illustrating the distribution of greenhouse gas (GHG) emissions across three scopes. The largest portion is Scope 3 at 91.8% (green), followed by Scope 2 at 7.0% (yellow), and Scope 1 at 1.2% (red).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Scope</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Scope 1</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>Scope 2</td> <td>7.0%</td> </tr> <tr> <td>Scope 3</td> <td>91.8%</td> </tr> </tbody> </table>	Scope	Percentage	Scope 1	1.2%	Scope 2	7.0%	Scope 3	91.8%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 42,914[tCO₂] (7.0%)
	Scope	Percentage								
Scope 1	1.2%									
Scope 2	7.0%									
Scope 3	91.8%									
<p>ただし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スコープ1および2は、グループ内の未算定拠点あり。 ・スコープ3は、単独かつ未算定カテゴリ(4,11,12)あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 : 560,187[tCO₂] (91.8%) 									

株式会社安川電機

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<p>気候変動に関するリスクと機会の分析結果は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ●リスク <ul style="list-style-type: none"> ・物理：河川氾濫による当社事業所および取引先の浸水被害 ・遷移：炭素税の税率アップによる事業支出の増加 ・遷移：環境に関する外部評価の低下による資金調達の悪化 ●機会 <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー発電の増加による関連機器のビジネス拡大 ・設備等の省エネの加速によるインバータ機器のビジネス拡大 ・EV化の加速によるEV用モータドライブシステムのビジネス拡大
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none"> ●当社グループは、環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」において、生産活動（グリーンプロセス）における環境負荷は従来以上に低減するとともに、技術力をもって製品の環境性能を高め、製品（グリーンプロダクツ）により世の中の環境負荷を低減することでさらなる貢献を果たすことを掲げており、これらをより具現化するためにもSBTを満足する目標設定を行いたい。これにより持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上を図りたい。

株式会社安川電機

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<p>今後、以下のプロセスおよび社内議論を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none">● スコープ3の未算定カテゴリーの算定方法の確立。● スコープ1・2・3の未算出拠点の算出および未算定カテゴリーの算定を推進。● 上記算定結果を基に、次期中期計画や長期ビジョンとリンクした基準年、削減目標の設定、および削減プロセスについて、社内議論の実施。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● M&A等による新規追加拠点を含めた海外の未算出拠点の算出の推進。● ビジネスの拡大により増加傾向にある排出総量を削減するための効果的な方策の立案。● 上記を含めて、経営層への削減に対するさらなる理解の浸透と削減目標の合意。